



白樺は空に向かって立つ



2021年一般会計報告

収入の部

項 目	一般会計
前期繰越金	36,980
入 会 金	126,000
振 替 金	600,000
会報コンビニ	619,135
会報郵便局	316,040
利 息	0
合 計	1,698,155

支出の部

項 目	一般会計
総 会 費	83,560
役員会議費	30,888
支援激励費	114,000
事 業 費	96,800
校 歌 C D	369,230
会 報 費	911,964
通 信 費	6,090
印 刷 費	6,692
事務用品等	13,244
雑 費	2,640
予 備 費	0
次期繰越金	63,047
合 計	1,698,155



湧雲

第 14 号

2023年3月1日発行

発 行・北海道深川西高等学校同窓会
〒074-0012 北海道深川市西町7番31号
TEL 0164-23-2263 FAX 0164-23-2264

同窓生数
17,575名

デザイン・印刷・SALAT (株)サラト
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
Tel:079-284-1380 https://salat.co.jp

令和3年度総会 事業報告

第79回同窓会総会が6月1日に開催された。嚮田会長の挨拶に引き続き、間校長から学校の現状や取り組みをお話いただき挨拶をさせていただきました。星野孟さんを議長に選出し、令和3年度の事業報告は左記のとおり報告された。決算報告、監査報告に引き続き事業計画、例年通りの事業内容だが、会場の予約の関係から今年の同窓の夕べの開催の可否を諮る。再度の延期を決定。5年おきの名簿の発行が2023年なので可否を諮る。同窓会負担がないということなので発行することとする。滞りなく終了。即、散会となる。

令和3年度事業報告

自・令和3年4月1日
至・令和4年3月31日

1、会議・行事に関する事項
令和3年(2021年)
4月8日 入学式 入学生66名
6月9日 定時総会
ラ・カンパニーホテル深川
令和4年(2022年)
2月28日 同窓会入会式
入会者84名
(嚮田会長・三上幹事長出席)
3月1日 第74回卒業式
卒業生84名
(嚮田会長・三上幹事長出席)

【同窓の集い】
新型コロナウイルス感染防止の為
中止

【激励会】
令和3年 7/5 8/17
令和4年 9/29 12/8
1/24 計5回
(嚮田会長・三上幹事長出席)
※報告：4月11日 会計監査済み
2、会報の編集
同窓会会報「湧雲」
令和4年3月1日発行 第13号
印刷サラト
(協賛者と卒業生と4年毎の会員のみに送付)

3、母校の後援に関する事業
①第二次10年計画による前庭の植栽の点検
②各部で活躍する在校生への支援
体育系・文化系 全国・全道大会へ出場する生徒への支援「激励会」

③10/9 第12回卒業記念植樹「キタコブシ」生徒10名
④会旗、部旗、健闘幕作成費
4、会員相互の親睦、交流に関する事業
①同窓の集い 今期中止
②各支部現況報告
(同窓会会報にて報告)
③各期の動き
(同窓会会報にて報告)
5、「緑の学舎運営委員会」《令和3年度・事業報告》別項にて4年度分掲載

6、その他、本会の目的達成のため
必要な事業
①同窓の部屋の収蔵品の収集継続
②記念誌・名簿・CDの在庫状況
③写真パネル：現有 90枚余所蔵、管理保管は学校

同窓会活動

活動が制約された3年間でしたが、なんとか活動が出来ていたことに感謝したいと思います。今なお感染は収まりませんが平時の状況に戻りつつありますので期待をします。以下、コロナ禍中での3年間の活動経過概略を列記しておきます。

同窓会

【総会】
第77回 2020年
新型コロナウイルスの感染予防措置から書面で行う
第78回 2021年 6/9
出席者を絞って開催
第79回 2022年 6/1
出席者を絞って開催
【同窓の夕べ】
集まる人数が多いことから中止の止むなきに至っている。
第24回 2020年 中止
第24回 2021年 中止
第24回 2022年 中止

【卒業記念植樹】
第11回 73回卒業生
「かつら」
この年、唯一行った事業
第12回 74回卒業生
「キタコブシ」
植えることが出来ました
第13回 75回卒業生
「ナナカマド」
植えることが出来ました

【全国大会・全道大会への激励会】
2020年 9/17 11/9
2021年 7/5 8/17
2022年 1/25 5/31

同窓会報

第12号 2020年号 発行
第13号 2021年号 発行
第14号 2022年号 発行

緑の学舎運営委員会

【運営委員会会議】
第14回 2020年 中止
第15回 2021年 中止
第16回 2022年 中止
【維持・管理】
2020年 屋外なので春・秋ともに作業実施
2021年 屋外なので春・秋ともに作業実施
2022年 屋外なので春・秋ともに作業実施

「2023年の新しい年を迎えて」



深川西高等学校
同窓会会長

轡田 光章

令和五年の元旦は雪の中にも久しぶりの風のない静かな年の始まりでした。

高校の現三年生はコロナ禍で入学し三年間の高校生活をマスク生活のまま三月には卒業です。社会環境が大きく変化の中にも先生と在校生が知恵を絞って、勉学に、クラブ活動に、そして学校祭等の全体行事に努力して来られた姿をとて嬉しく思っています。同窓会としては、クラブ活動の激励ぐらしか行う事はできませんでしたが、ピンチをチャンスに変えていく高校生活の貴重な時間であった事と想像します。

昨年一年を振り返ると、ロシア・ウクライナの戦争やそれに伴う社会環境の変化は戸惑いと不安をもたらし、加えてコロナウイルスによる行動の規制は多くの人々からコミュニケーションの機会を奪ったかもしれません。しかし忘れてはいけないと思う事

は、私達は人と人との繋がりの中で生きているという事です。在校生の皆さんには、友人を大切に、そして自分自身の目標に向かって、人生の歩みを進めてほしいと思います。

さて、同窓会ですが、三年間「同窓の夕べ」もコロナウイルスの為に中止となりましたが、なんとか復活したいと思っています。第十三回の卒業記念植樹を同窓会林で行い「ナナカマド」を植えてもらいました。赤い実がつくと思います。又、昨年より五年に一度継続してきた同窓会名簿の作成は、卒業していく皆さんには大切なものと思われ、役員会にて新同窓会名簿を作成する事となり(株)サトさんの協力のもと作成が進められています。何卒、同窓生の皆様には趣旨を御理解いただき御協力くださいます様お願い申し上げます。

深川市内、近隣町での少子化は御多分に漏れず生徒数の減少傾向が続きます。国の少子化対策も聞こえてきますが、学校を取り巻く環境は厳しい事を感じつつ同窓生の皆様には母校に対しての思いを忘れず、今後共御指導御鞭撻をお願い申し上げます。令和五年の同窓会会報「湧雲」十四号での御挨拶とさせていただきます。

第13回卒業記念植樹報告

2022/10/10

参加者

轡田会長・堀川・岡部・末松・石川(幸)・山田・南・妻神・石川(雅)・竹林・溝口

数日前から天気回りが良くなかったから決断が出来ない日々が続いた。余程酷ければ延期もあり得るかと思ひ日々だったが、振替日を設けていなかったことや、やりようによつては決行出来るような気がして強行することにした。雨で秋作業が出来ない状態だと生徒が来るまでの待ち時間がありすぎるので委員のみなさんの集合時間を遅らせた。晴はないとしたら軽トラに積み込む準備品が雨・小雨・曇などに対応しなければいけなくなり軽トラでは間に合わず、2tの箱車にしたら積み込むのに前日の午後からの準備となった。



準備の関係から9:30到着

石碑の通路から会場まで歩くより道路傍の斜面を上る方が雨に当たらずに済むと判断。岩で凸凹している広場の安全を考えて南委員と小雨の中の階段作り。斜面を階段状にスコップで削り植樹会場の足元の山石を鉄棒で掘り起し斜面に積み上げていった。急場しのぎの階段なので後日もっときちんと積み上げる予定。委員が順次到着、手分けして作業に入る。記念植樹の準備は植樹の穴掘り、添え木立て、記念プレート支柱の打ち込み、雨対応のテント2張りを設置。枝折れした桜は会場の正面で昨年植え替えた一番のメインの場所にあるので北側の斜面に移動することにした。竹林委員が移植先までの草刈りを行う。桜の移植の為、一手に分かれて移植先の穴掘りと再植樹、又別組は撤去した跡に冬囲いとチューガードを巻いてから新しい桜の苗木を植える作業を行う。準備作業中に小雨が降り始め、山全体が霧に包まれて会場周辺しか見えなくなった。

都合で欠席の坪田委員長からの差入れの趣旨を説明して委員の皆さんにお配りしました。ありがとうございます併せて森林組合からのタオル等のお心遣いも竹林委員から配布していただきました。ここまでの作業は11:20頃までに終了。

生徒達の到着は11:30過ぎ。昼食はバスの中で生徒に配布。委員各位も各々



配布して

本日の事情を了解しても

らった。

今日は植

樹が出来

ないかも

しれない

と伝えた

が植樹会

場で記念

写真だけは撮りたいので即席の階段の

傍にバスを横付けにしてもらって足元

に気を付けながら岩の階段を上がつて

もらってテントに入つてもらった。

バスは展望台で方向転換の為に

てしまったので、この間に集合写真を

したのだが降っていた雨も生徒達がテ

ントの中に入つて挨拶や説明をしてい

る間に幸運にも雨の気配のない状況に

なつたし、会場周辺の霧も晴れてきた

し、気温もあったし、生徒達から「植えた

い」と言う希望出てきたのでぐちゃぐ

ちゃになりかけて足元が汚れるけれど

急遽植樹をすることにして無事事業は

おこなう事が出来た。予定通りに進行し

ない今回の植樹だったが満足のい

くものであった。

天候ばかり気にして学校長から

のご挨拶を忘れてしまった。大変申し

訳なくおもつて。バスは無事

出発。委員は後片付けをしてお弁当

を食べる暇もなく下山した。下山途

中からウインドウガラスに雨粒が

当たりだした。幸運を感じながらも

天気予報が当たっているように当

たっていないような現実にもかか

応援されているような不思議な感

覚の一日となった。



学校行事

宿泊研修

4月26、27日の1泊2日、ネイパル深川で新1年生の宿泊研修を開催。様々な活動を通して、クラスの団結が図られ、その後のコーラス大会や学校祭などの準備にもつながっていきます。

コーラス大会

5月12日(木)、深川市文化交流ホールみらいで3大行事の1つ、コーラス大会が実施されました。各クラスによる自由曲の合唱、学年ごとに課題曲を行う学年合唱、そして全校生徒で気持ちを1つにして歌う全校合唱があり、どの合唱も気持ちの入ったすばらしい歌声となりました。

3学年課題研究 探究テーマ発表記者会見

6月13日(月)、3学年が実施している課題研究の、各班のテーマや進め方について発表を行う「探究テーマ発表記者会見」が行われました。

3年生は、医療や福祉、保育など進路に関係した研究や、建設予定施設の活用アイデア、北空知の活性化策など地域を題材とした研究などなど、多彩な切り口で発表を行い、質疑を通して今後の探究内容を修正する機会としていました。一方、2年生は記者になりきり

質問、1年生は会見の見学を行うことで、それぞれ来年度以降に向けて、「課題研究」とは何かを理解していくものです。

今年も地元企業と 高校生をA-Iでマッチング

市次世代人材確保対策協議会 深西高2年生が14事業所を訪問
市や市商工会議所、北空知信用金庫、深川建設業協会が構成する深川市次世代人材確保対策協議会は7月20日、就職情報大手の「マイナビ」(東京)が展開するA-Iを活用した企業紹介サイト「Locu s(ローカス)」を使った高校生対象のフィールドスタディを実施した。深川西高の2年生64人が、A-Iの適性診断でマッチングした市内事業所を訪れた。



てもらい、地域経済の発展や雇用の安定につながようと、同協議会が昨年に続いて企画。高校生は、A-Iの分析結果を基に建設会社や医療機関など14事業所に分かれて、職場体験をした。

このうち、北空知信用金庫(池内英二理事長)の本店には5人が訪れた。信用金庫の特性や業務内容のほか、地域貢献の取り組みなどの説明を受けた。また、普段できない体験を―と、同信金は現金一億円を用意。生徒たちはめったに見ない大金に驚きながら、記念写真などを撮っていた。

(北空知新聞社提供)

体育祭

8月25日、雨天のため延期された体育祭を無事開催。7種目の競技に体力と気力の限りを尽くし、クラスで一致団結しながらコロナ禍の中で青春を燃やしました。

カタリ場

大学生との交流を通し、高校生に今後の進路や将来の夢について考えてもらう教育プログラム「カタリ場」が11月9日、深川西高(間義浩校長)で行われた。約1年後の進路選択を控えた2年生が、同校の卒業生を含む大学生の経験談などに耳を傾け、自分自身と向き合った。

首都圏の大学生が中心となって2001年にスタートした「カタリ場」は、大学生を中心としたスタッフが高校生の本音を引き出し、将来について具体的に考えてもらうプログラム。北海道では、札幌市のNPO

法人「いきたす」(江口彰代表理事)が各地の中・高校で開催している。

この日は、道内の大学に通うスタッフ25人が参加。このうち5人が、スケッチブックを手に、自分のこれまでの人生や学校生活、大学受験時のエピソードなどを紙芝居形式で紹介した。

引き続き、3〜4人の高校生のグループに大学生スタッフが入り、フリートーク。スタッフのアドバイスを受けながら、今の自分に対する満足度や将来の目標などを専用のシートに記した。

今回の大学生スタッフには、自身も同校「カタリ場」に参加した卒業生2人が名を連ねた。そのうちの1人で、小樽商大2年の阿部汰樹さんは「僕自身も、この『カタリ場』が将来を考えるきっかけになったし、大学生になったら、ぜひスタッフとして参加したいと思っていた。僕たちの話が高校生の心に届けば、うれしい」と話していた。

(北空知新聞社提供)



令和3年度卒業生進路動向

	進路	男子	女子	合計	前年度
進学	国公立大学	4	1	5	5
	私立大学	6	7	13	15
	短期大学	4	14	18	17
	専門学校	8	17	25	22
	高等看護学院	0	7	7	5
	准看護学校	1	1	2	0
	文部科学省管轄外大学	0	0	0	1
就職	公務員	1	2	3	3
	民間企業	7	3	10	7
	自営・家業従事	0	0	0	0
	その他・未定	1	0	1	2
	合計	32	52	84	77

往時を振り返る

深川西校30周年記念誌 昭和43年9月5日発行より転載
原文のままですので肩書は昭和43年当時のものです

陸上競技部概史

本年、昭和四十三年。北空知地区大会において男女共に優勝、男子は三十八年以来六連勝を果し、全道大会に二十名の部員を送り込みました。全道大会では、吉沢(百十M・H、五種競技一位)、本宮(円盤投四位)高桑(三段跳六位)、高橋(八十H、五種競技一位)が活躍した全道大会となり、往年の「陸上深川高校」の伝統を誇示しました。今なお全道大会プログラムに第一回優勝校として名をつらねている「深川高校」の血は現在の部員にまで引き継がれ脈打っているのです。

昭和二十二、二十三年、この頃の陸上部の草分けと云って良い人々に、舩岡、日暮、吉田、名取川(現・札幌名取川靴店社長)、柴田の諸氏が居り、針金屋先生の指導の下で現在の競技部の土台を作り上げ、小樽での全道大会にも出場した。つづいて輝かしい全道制覇の年がある。富原・久保現・宮城県教委、皆川(現・室蘭清水高教)、松井(現・深川市松井商店)、小田(佐呂間病院院長)小野、金山(医博)、杉田、宮部、咄下(現・検事)、鈴木(札幌市議)、真鍋(道新)、沼田、加藤の諸氏が続々輩出し活躍。全道優勝は昭和二十三年

八月二十八日、北見での第一回高等学校陸上競技大会である。

この頃の事は宮岸氏(富士屋旅館)、あるいは大島氏(旭川陸協)などが現在の陸上界を語る時に胸を張って話されます。ひきつづき鈴木(素)、菅野、高砂、山田(時)、杉田、辻井、関口(滝川京屋)、佐々木(虎)(旭川竜谷高教)、鈴木(隆)、上原、高橋氏(札幌静修高教)と強力な時代が続く。昭和二十六年、高橋氏は槍投げで菅野氏は走高跳でそれぞれ全道三位に入賞し全道大会へ出場。昭和三十一年、東西分離後の女子部が結成され、男女共に優勝。男子では外山、森(富良野高教)、柴田の諸氏。女子の忠、高畑氏が健闘、特に忠孝子の名は全道にとどろく。三十二年には高田(弟子屈高教)氏がハンマーで、女子の伊藤氏が砲丸でそれぞれ全道入賞を果している。

その後、向(向運動具店)、吉川、伊藤、菅原氏等が活躍。伊藤氏はハンマー投で全道入賞。三十八年になると新野が女子百Mで二位、吉沢も女子砲丸で一位とこの年、全道大会女子総合三位となる。石窪、田緑、宇佐美、塚田等の活躍もあって、四十一年には寺下が棒高跳で四位、吉沢が百十Hで、高橋が八十Hでそれぞれ六位と全道入賞。この頃になると毎年地区大会で圧勝し、全道大会には

十五、十八名が参加している。

昨年四十二年には吉沢、高橋が好記録を出して、インターハイにひきつづき埼玉国体に出場し、高橋は八十Hの決勝に進出して七位となった。この時、前記した久保氏が宮城県の監督として来ておられ、「深川西高の名を見て非常に懐かしく感激しました」とわざわざ訪れてくれました。全道のコーチとして参加されていた鈴木氏とも何十年振りかの対面もあって、先輩とは思いません。鈴木氏、関口氏あるいは向氏等には陸上部を可愛がってもらって居り、今後ともこのような強力な先輩、後輩が続く事と信じて居ります。

私が着任して以来六年間、連続して一位を守った種目に千六百MRがあります。高松、内海、斎藤、池田、室田、相原、佐々木貴、佐々木(孝)等の健脚は特筆に値するものがあります。

中学時代に陸上競技の経験の無い生徒が大多数でも彼らには強い信念と夢があります。そして三年目を迎えた時には心身ともに立派に成長しているのに驚かされます。

若輩の私が深西陸上部の歴史を語るには余りに僭越とは思いましたが書き綴ってみました。欠かせない人の名前がもれていたりしているかもしれませんが、資料が全然ない状態ですので御許し願いたいと思います。

今日も真夏の陽をはねかえすように部員は走り回っています。

(顧問、竹田憲司・記)

母校支援事業

◎ 大会出場激励会



2022年1月25日



2022年5月31日



2022年7月22日



2022年9月5日



2022年12月21日

第65回 コーラス 大会

第65回コーラス大会が5月12日に開催された。会場は「み・らい」一般参加なし。ピアノ伴奏が少なくなったとある。これはこれで楽しみではあるが近年拝聴出来ていない。

当日の注意事項です。参考までに…。

- ・ 携帯電話はマナーモードにするか、電源を切ってください。
- ・ 朝の検温で発熱があった場合、大会には参加出来ません。
- ・ 入館時は入り口で手指消毒を行ってください。
- ・ 館内は土足ですが、ステージ上では上靴を履いて登壇してください。
- ・ 館内は飲食禁止ですが、水分補給はロビーでのみ行うことができます。
- ・ ハイタッチは行わないでください。

以下、当日のしおりから転載

コーラス大会にあたって

校長 間 義浩

昨年度は、コロナ禍にありながらも、皆さんの創意工夫と協力により、深西三大行事をやりとげました。コーラス大会は三大行事の中でも最初に行なわれ、コロナ前のような保護者等への公開はできませんでしたが、皆さんの思いが込められた素晴らしい内容だったことを覚えています。

本大会は、クラスの交流と親睦を図り、より良い発表を目指す活動の中で協調的な集団づくりを行い、今後の学校生活に生かすことが目的です。生徒会執行部をはじめとする皆さんの、これまでの取組に敬意を表するとともに、この目的の達成を期待します。

そして、立夏を過ぎ若葉萌えるこの季節と相まって、皆さんの素晴らしいハーモニーが参加者全員の心を響かせることを願っています。

挑 戦

学芸委員長 傳里 心結

深西の三大行事である年度初めてのコーラス大会がいよいよ始まります！

今年度はHRコーラスと全校合唱の他に、学年コーラスがあります。また、HRコーラスではピアノ伴奏ありのクラスが例年よりも少なく、アカペラのクラスが多いのでひと味違ったコーラス大会になると思います。8日間という短い練習期間の中で、皆さんが一生懸命練習していたことがとても印象に残っています。HRコーラス以外にも学年コーラスの表彰もありますので全力を出して頑張りましょう！

昨年度と同様に、今年度も新型コロナウイルスの感染予防対策を行っての実施となってしまいましたが、少しでも皆さんの良い思い出になると嬉しいです！



同窓の夕べ再々中止に…

開催予定だった第23回の同窓の夕べは参加者が多数になることからどうしても感染対策が難しく、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為に再び中止となりました。依然として状況は好転せず、ワクチン接種は進んだもののいまだに治療薬の決め手がなく見通しがつかないことから開催を早々に断念しました。インフルエンザと同様に常在する予想ですから将来を見通しても発生は終息する見込みはありません。今後は共生していくことになりそうです。

遂に3回延期となり令和5年は何としても開催したいものと願っています。延期となっても、実行委員長はそのままスライドします。残念ですがご理解ください。

各期動向報告

(カッコ内は情報提供者・敬称略)

コロナ禍に見舞われて三年間も情報も更新できていません。いまだに警戒感が先行しどの期も開催した情報は入ってきません。まことに申し訳ありませんが引き続き前号の一部を修正して再掲となりましたことをお許しください。但し、四年に一度しかお送りしていない方もいますのでその方々にはこれでも新しい情報かと思えますのでご了承ください。

【旧中二期】

先輩も九十七歳の年齢になり、連絡が取れない状況です。自然消滅。

【旧中三期】(旧制深中2期会)

ご存命であれば九十六歳ですがさすがに連絡が取れません。平成十四年を最後に同期全員の開催を取りやめとし以後二・三年ごとに有志で開催していたようですが、さらに高齢になり、開催なし。情報提供者もいない状況です。

【旧中三期】(旧制深中3期同期会)

九十五歳ですね。連絡の取れそうな方もいます。

平成七年卒業五十周年を期して「俺の足音」(B5判128ページ)の記念誌を発刊。十七年には卒業六十周年記念誌「俺の一言」(B5判93ページ)を制作。十九・二十・二十一・二十二も九月札幌にて開催。危ぶまれた二十三年、二十四年も十月に開催。二十五年十月開催を最後として区切りをつけた。

【旧中四期】(旧制深中4期生)

九十四歳。平成十五年と二十年。故・中島武敏元代議士を囲んで(ふれあい会館)集まったのが最後とか。

【旧中五期】(旧制深中5期会)

会を開催。同期生全員に案内するのはこれが最終回でしたが二十三年六月二十日開催。二十四年も六月に開催いたしました。以後高齢の為残念ですが集まりはありません。

【五期】

不定期開催。最近開催なし。(南 進)

【六期】(西高29会)

代表・永野 慶昭
八十七歳となりました。深川支部は二九会なので毎年六月二十九日に開催して毎年旅行を実施したり昼食会を行っていました。札幌勢は年に六回集まり、東京勢は年一回集まっていたがどうなっているのでしょうか。全体での開催は十七年での札幌が最後となりました。(永野 慶昭)

【七期】(深西7期同期会)

代表・手島 克
三年毎に旭川、深川、札幌と持ち回りで開催している。十四年深川で開催、板倉に六十人参加。十七年は五十年を札幌にて八月開催、五十人参加。二十年旭川。二十三年九月五日深川で開催。二十六年九月札幌開催。二十七年、二十八年と深川で連続開催。令和元年五月十二日最後の同期会を札幌にて開催三十四名。今後は各地で随時ミニ同期会を開催していく予定。(手島 克)

【八期】

不定期開催。二十年六月札幌第一ホテルで開催。高齢となり最後の同期会と言うことで六十五名参加。それ以後は各クラスやグループが少人数で開催。二十一年八月深川在住者、令和元年九月には札幌で開催した。(清水 義弘)

【九期】

八十四歳。十年深川・十二年旭川・十四年札幌・十六年北竜。十八年東京。毎年開催の意向を受けて十九年秋に定山溪、小樽。十九年三月深川

川ホテル。二十年二月天人峡パークホテル。二十一年九月十三日深川にて開催。同期生七十八人、恩師三名。二十四年九月十三日札幌支部による発起人で開催。二十七年一月、新年会を札幌で。深川近郊同期昼食会を二十八五月、九月に開催。首都圏同期会を二十八十月に開催。(堀川 勝之)

【十五期】(深西38会)

代表・菅原 明義
札幌・吉田 裕、檜山 秀紀
以前は五年毎に開催していたが間隔が狭まった。十年は十一月、十五年は札幌で開催。十七年十月九日開催。十九年九月旭川開催。二十一年十月定山溪グランドホテルで開催。六十三名が出席。二十六年に古希の祝いで開催。喜寿は三十一年なので、開催予定。札幌三十八会は偶数月に定例懇親会を恩師田中先生を囲み継続開催をしていました。(菅原 明義)

【十六期】(深川西高16期卒業同期会)

代表・星野 孟
五年毎に開催。十一年から三年毎の開催にしました。二十年九月開催。二十三年十月十日板倉にて開催しました。二十六年六月二十二日に卒業五十年で開催。二十九年六月深川にて第十一回同期会を開催。(星野 孟)

【十七期】(高17期同期会)

十二年に板倉。十七年八月板倉で開催。四年に一回開催が約束だが二十七年十月に卒業五十年に当たり前倒し開催。毎年、秩父別にて一泊ゴルフで親交を深めていた。(濱田 靖夫)

【十八期】(猪子会・いのね会)

代表世話人・宮岸 徹二
十七年九月札幌にて開催六十名。二十年十月、富士屋にて開催六十名。東京組は随時開催で二十年は九月。札幌組は随時集合。深川組は毎年夏、冬と二回開催している。二十三年十月十六日、札幌にて

【三期】

代表世話人・坪田 邦光
十三年八月に三十年を記念して札幌にて開催。出席者八十余名。

二十四年六月三十日板倉にて卒業四十周年を記念して開催。三十年十月二十日に開校八十周年で校庭にアオダモを植樹した。(齋田 光章)

【四期】

十四年札幌、十六年六月深川(日の出)にて開催三十五名。十七年六月札幌にて連続開催。二十年六月「まあぶ」にて開催。二十五年十月五日、京王プラザホテルにて卒業四十一年で開催。八十名出席。現在は二年に一回で開催している。札幌で三十年十月二十一日に開催六十八名。翌年の令和元年十一月十六日ミニ同期会開催。四十一名。(大平由美子)

【五期】

十四年十一月に札幌にて開催七十名参加。二十六年十一月還暦同期会を札幌にて開催。参加者八十名。市内在住の同期会は開催していません。(矢野 正樹)

【六期】(49年卒業同期会)

代表・渡辺 純
十六年は卒業三十年で九月札幌にて開催、百名参加。同窓の夕べの実行委員として携わったのを機に同窓の夕べの後に同期の集まりを持つこととしており、二十六年は二十人が集まり交流しました。二十九年六月二十四日開催。同窓会幹事二十九年まで高瀬昌之、三十・三十一年度は松野正明が担当。(松野 正明)

【七期】

代表・竹林 均
十六年一月二日開催し七十四名参加。令和元年六月二十九日、八十八名集合。(館下 孝之)

【八期】(第28期同期会)

代表・三ツ井隆博
三回目となる同期会を十七年八月板倉にて開催。百名を超える参加あ

【五期】

卒業十五年を十年に深川で開催。(田中 一幸)

【三六期】(深川西高36回生同期会)

卒業二十年で十六年一月板倉にて開催。九十九名参加。

卒業二十五年を二十一年一月に開催。二十三年十月二日に第三回同期会を開催致しました。深川西高校(第三十六期生) 掲示板を開設中です。(渡辺 哲男)

【三七期】

十四年に板倉にて開催。(佐藤 秀樹)

【三八期】

代表・佐々木
四年に一度の開催で平成三十一年正月に深川で開催。(西口 健一)

【三九期】

十三年二月、日の出会館で開催参加、四十四名。

【四一期】(第41期同期会)

代表・佐藤 彦彦
二十一年一月二日に開催。二十五年七月十三日。三十一年一月二日に開催。五十八名。次回は四年後に開催予定。(佐藤 彦彦)

【四四期】

二十三年一月開催。平成三十一年一月二日開催。四十九名参加。(吉住 仁陽)

【四五期】

(目下 大輔)

【四六期】

二十三年四月に第一回を板倉にて開催。当初五十名以上の参加申込が東日本震災の被災地支援の関係から消防、自衛隊など関連に勤務しているメンバーが参加できなくなり四十名余の参加となった。(佐藤 自真)

十五年鎌倉。十六年函館。十七年札幌。十八年美唄。十九年六月深川。十月台湾へ修学旅行。二十年には開校七十周年記念に合わせて式典終了後開催。二十一年以降は津田氏が亡くなったため、札幌・平林さんが後を引き継ぎ札幌で集っていたが、集まるのが難しくなってきたため二十七年に記念のエッセイ集を二集出版した。

〔一期〕 九十二歳。平成六年岩見沢市、七年滝川市、八年幌新温泉一泊、九年箱根・東京二泊、十年深川市、十一年定山溪温泉、十二年滝川、十三年岩見沢、十四年深川、十五年札幌、十六年滝川、十七年札幌開催を最後に取りやめ。以後開催なし。

〔二期〕 (旧制中学7期・深川西高2期の集い) 令和五年には九十一歳。毎年秋に開催していました。東京、札幌、深川持ち回り。十二年は卒業五十年で札幌、十三年はホテル館、十四年は東京、十五年は札幌、十六年は深川。二十年「喜寿の集い」をもつて期友の会を打ち上げにしました。その後、関東、関西、北海道全域から同志が集まり一泊で温泉旅行を開催、二十名参加。(大久保博夫)

〔三期〕 九十歳に突入。東京では毎年開催していたが、連絡取れず。往時は札幌も随時開催していたが、深川は三名いたが、いずれも元氣なし。平成十二年を最後に開催していない。(大鎌 幸雄)

〔四期〕 (深川西校第4期生同期会) 代表・宮脇 敬

札幌(北斗会)はコロナ禍前までは毎月集まって親睦を深め無事を確認し励ましあっていました。十六年札幌は六月、東京・四葉会は一月に開催。十七年は六月札幌、十八年札幌開催。十九年五月定山溪で、卒業五十年で偶然にも五十五名が参加。二十年六月札幌。二十二年六月「喜寿を祝う同期

在住者で開催。二十年九月深川開催。「ゆう&ゆ」に四十七名。二十三年九月四日沼田ほろしん温泉にて全体の同期会を開催しました。二十四年五月八日、東京方面でミニ同期会で五月九日市内在住者のミニ同期会でパークゴルフの会を開催。秋には東京で全体の同期会を開催。二十五年は七月十日旭川で開催。二十六年十月十五、十六日鬼怒川温泉で二十三名参加開催。二十七年は開催しませんでした。毎年北空知・旭川方面在住者で同期会開催、一昨年、昨年に引き続き令和二年九月に予定もコロナ禍に沈む。(倉嶋 克郎)

〔十期〕 (深川西校第十期同期会) 代表世話人・高橋 国雄

十五年六月に四十五周年記念として北広島で開催。二十三年十月二十日定山溪温泉にて五十八名の参加で旧交を温めました。二十六年十月十八日、十九日札幌にて開催。参加者四十五名。三十年七月三、四日に札幌第一ホテルにて卒業六十周年を最終として開催した。(星野 友雄)

〔十一期〕 十二年八月還暦記念を深川で開催、十六年は八月札幌七十名。十八年十月深川で開催。二十年札幌。二十七年深川で開催。(中井幸太郎)

〔十二期〕 (西高35年卒同期会) 十三年秋、還暦同期会を開催、参加五十八名。十八年小樽にて開催。二十二年六月深川にて開催。

〔十三期〕 (三六会・サボロウ会) 代表・吉川 保

H十年HP開設 ML(倉山昭男) 十四年六月還暦記念同期会を開催、板倉。二十年開催。二十二年六月秩父別温泉「ゆう&ゆ」で開催。二十八年七月札幌で開催。三十年六月三十日、秩父別温泉「ゆう&ゆ」で開催。(佐藤 豊秀)

〔十四期〕 十六年五月還暦同期会を開催。深

開催。二十六年七月十二日開催。二十九年七月八日深川開催。以後コロナ禍で自粛中。少人数では情報交換をしている。(深沢 倬子)

〔十九期〕 (深川西高42会) 代表・千葉 憲一

五年に一回の開催。十七年旭岳のふもと湧別温泉で開催。登山も兼ねた。二十年は「ゆう&ゆ」で還暦同期会を十月開催。二十五年九月二十三日北広島にて開催。二十九年五月二十七日北広島にて八十二名の参加で開催。(寺下 良二)

〔二十期〕 (深川西高第20期卒業同期会) 代表・児島 俊一

四年に一回の夏期五輪開催年に合わせて開催しています。十二年六十名参加(深川ホテル)十六年は八月に開催した。二十年八月深川で開催。東京組は二年毎に開催。二十四年八月四日、深川板倉にて開催、五十九名出席。二十八年八月六日深川開催五十七名。道内在住者の有志で「ふれ愛・語り合いゴルフコンペ」を年三回開催しています。今年は八月三日に開催。年末に札幌で直会を開催しています。冬期オリビック開催年には東京で同期会を開催しています。三十年十月に箱根一泊で行いました。(小川 広見)

〔二二期〕 (西高21期同期会) 十四年八月。十八年八月開催。二十三年八月十三日深川にて開催。四年に一度の開催と決め二十六年九月二十日札幌にて開催。平成三十年九月札幌で開催。令和二年七十歳になるので深川で開催予定も延期につぐ延期となつてしまつています。(梶川 寛)

〔二三期〕 代表・広上 和好

十二年卒業三十年で開催。参加六十名(日の出)。二十年八月札幌開催。二十七年深川で開催。(松原 和男)

り。五年ごとに開催。第四回目の同期会を二十二年八月札幌にて開催。二十七年八月深川で開催。九十名出席。令和二年予定は延期、さらに今年度も延期。(増永 博志)

〔二九期〕 同期会代表世話人 新井 清一

同期会HP: <http://nshikoymemories.jp/> 同期会開催状況 二〇一八年十一月二十三日 還暦同窓会 ホテルニューオータニ札幌 次回開催予定、六十五歳になる二〇二三(令和五年)さてどうなるやら? (幹事・挽地 昌弘)

〔三〇期〕 3組学年会 代表世話人・土田 光子

学年の同期会は無く、三組に少数の他の組のメンバーが参加しています。(津田 恭史)

〔三二期〕 (第31期同期会) 卒業二十年を十一年に深川で開催。百十名。卒業三十年を記念して二十一年に出席者八十名で開催。二十六年十月に開催。令和元年八月十日開催六十二名参加。(宮沢 孝司)

〔三三期〕 (代表世話人・外山 定男) 二十四年一月二日、板倉にて二十八年ぶりに八十五名の参加者を得て開催しました。五年経過したので開催の方向でしたが。(三上 貴康)

〔三三期〕 (元気でやっつる会) 代表・紺野 浩治

二十三年八月十三日(第四回)板倉にて開催。二十七年八月(第五回)を板倉にて開催。四年に一度の開催ですがコロナでできていません。(今西真理子)

〔三四期〕 卒業二十年を十四年に深川で開催。

〔五四期〕 二十三年六月十三日、ブランドシュネージュに五十人が集合。(及川 賢一)

毎度のことですがご協力頂いた期の幹事の方や世話人の方には大変お世話になっていきます。記載の情報は前年までの情報に新たな情報を追加しただけの二十四年間の積み重ねです。目新しい情報は数箇所しか追加されていません。事務局では記載の期以外は把握できて居ません。きつと開催しているところもたくさんあるのだらうと思います。情報の収集に努めていますし、各期の協力者を探し支援を頂きながら、それぞれの期の動向が今以上に判明するように努力しています。情報がなかなか望みがないかもしれません。情報をお寄せ頂ければより充実した会報になるのですが、時代の流れの中で紙媒体の発信には「？」もつきますが高齢編集者には捨てられないものがあります。ご理解ください。

卒業時には同窓会の幹事にお名前を連ねている方々も都合で不明となつてしまっています。同期の方に情報提供をお願いしていますが今の時代では同窓会の存在が不要の感が漂っています。残念ですがそういうしがらみが面倒なのでしょう。それでも若い方同士は最新のツールを駆使してコミュニケーションが取れているのが救いです。

それぞれの期の幹事・連絡者の方には最新の情報を総会の案内の返信欄に記載して頂ければありがたいと思います。ご協力よろしくお願い致します。

同期会開催報告

残念ですが今号でも昨年に引き続き同期会開催報告はお休みします。次号15号には動向が掲載できるような社会情勢になつてくる事に期待しています。残された時間も少なくなつてきたように思います。SNSなどのツールを自在に使いこなせない世代には、顔の見える飲みみながらのコミュニケーションが懐かしいです。

宮脇氏釧路八重桜を見に来る

コロナ禍でもあることからどうしようと迷ったが今までに一番の花付きですこぶる花数が多いので15日位が一番の見頃かと思い連絡をさせていただく。どこにも立ち寄りなければ心配はないだろうという気持ちもあった。観桜をどうするか迷われていたのだが日曜日に何とか行きたいとの予定を火曜日にして車で到着し、観桜にご一緒



させていただく。盛りよりは発色が少し褪せてきた気もするがとにかく花は満開。花付も豊かで花数にはご満足いただけた。好天の中、校庭を見て回る。シコロの桜や切り株から芽生えた幼木の数々を見ていただいた。ようやく満足のいく桜の成長を見てもらうことが出来た事は喜ばしい限りでありました。

せっかくの機会なので、昨年、会長になられた轡田会長と三上幹事長には事前にアポを取っておき、お二人にお礼のご挨拶をお願いしていた。校庭から富士屋に移動。轡田会長から同窓会が大変お世話になったことにお礼を申し上げたあとコーヒーを飲みながら一時間程歓談したのですが、宮脇さんから昔の話や世相の事など広範囲にわたって含蓄のあるお話を伺って非常に楽しいひと時となりました。



2022/5/17

深川小時代はバレーボール少年団に所属していた多田さんは、深川中入学と同時に深川陸上クラブ(FAC)へ入部。バレーで培った地肩の強さを評価したFACの日高勇一監督が、投てきの練習に専念させると、中二の夏、全道大会の砲丸投で三位に入り、全国切符をつかんだ。高校は、「生まれ育った地元で、日高先生やF



深川小時代はバレーボール少年団に所属していた多田さんは、深川中入学と同時に深川陸上クラブ(FAC)へ入部。バレーで培った地肩の強さを評価したFACの日高勇一監督が、投てきの練習に専念させると、中二の夏、全道大会の砲丸投で三位に入り、全国切符をつかんだ。高校は、「生まれ育った地元で、日高先生やF

深川西高陸上部の多田悠理さん(二年)が、六月中旬に釧路市で行われた第七十五回北海道陸上競技選手権の女子砲丸投で三位(10m77)、同円盤投で六位(34m57)に入り、八月三日から徳島県で開かれる全国高校総体(インターハイ)の出場権を獲得した。円盤投は二年連続、砲丸投は初のインターハイで、今年は自己ベストを更新して、来年、北海道で開催されるインターハイにつながる大会にしたい」と意気込む。昨年の全道大会は、まさかの八位。「今年は、絶対に砲丸投でも全国に行く」と強い気持ちで臨み、目標としていた11m超えこそならなかったが、10m77の記録で、三位に入った。

ACの後輩が近くにいる所で競技を続けたかった」と、深川西を選択。これまで数多くの選手を全国大会に送り込んでいる同校陸上部で、着実に力をつけている。玉井教諭は「指導者からのアドバイスを、しっかりと消化した上で、自分の中に落とし込めることができる選手。もともとつと上を目指していつてほしい」。今年度、深川西に赴任し、指導陣に加わった同志社大陸上部出身の堀川善史教諭も「リーチを生かし切っていないし、筋力もまだまだだ。自分で、自分の投てきができるようになってきている。楽しみな選手です」と期待を寄せる。

高校生活二回目の大舞台で、砲丸投は11m以上、円盤投は35m35以上を目指す。来年は「北海道でのインターハイで、表彰台に上がることが目標。そこにつながるよう、今年の大会でも思いっきり投げたいです!」。

2年連続のインターハイ、砲丸投と円盤投の2種目で
深川西高陸上部の多田さん「自己ベストの更新目指す」

学 校 祭

7月9日(土)・10日(日)と第78回の学校祭が2日間に亘って開催された。スローガンは「奏でろ、我らの青春」。距離は遠く、心は近く。ですが、今のコロナ禍であつて切実な心情が込められ胸に迫る言葉ですね。一般公開はなかったのですが行燈行進は規模縮小で開催されました。コロナ禍での開催プログラムから挨拶を掲載致します。

学校祭にあたって

校長 間 義浩

いよいよ学校祭が始まります。

昨年は、コロナ大会、学校祭、体育祭と3大行事を実施することができました。今年も、コロナ大会を実施することができました。とは言え、ソーシャルディスタンス等の制約がある中で、コロナ対策を講じながらの企画・準備・実施となり、皆さん大変な想いをしてきたことと拝察します。皆さんの安心安全のためとはいえ、皆さんがつらい思いをしてきたことに申し訳なく思っています。

今年の学校祭においても同様ではありますが、行灯行列の復活等、少しずつ本来の姿にもどりつつあります。これまで様々な意見のやりとりがあつたことと思いますが、生徒会執行部の皆さん、生徒の皆さんはもろろんのこと、関係の皆様にも心からの敬意と感謝を表します。そして、それだからこそ皆さんには、学校祭が、準備期間を含めて今しか味

わえない仲間との貴重なひとときであるということ強く意識してください。

また、大いに楽しんでください。

最後になりますが、保護者並びに地域の皆様、本校の教育活動に対するこれまでのご理解とご支援に心から感謝申し上げます。

我らの青春

生徒会長 盛本 佑都

みんなの気持ちをひとつにする時が来た。第73回学校祭の開催だ！

今回の学校祭は例年より規模が萎縮してしまいが、コロナ禍でも最大限に楽しめるような企画にした。そんな中でクラス紹介、行灯、アビールの3部門で競い合い、順位を決める。特に今回はクラス紹介の動画とブラカードの順位を決め、その高水準を狙った。また、緑日も今頃から飲食禁止という形で実施可能となり、少しずつ本来の学校祭に戻りつつある。約2週間の学校祭期間の中でクラスが団結し、4部門の試行錯誤を繰り返す中で、思いの1ページとして自分なりの学校祭を描いて欲しい。

祭を描いて欲しい。

そして、1・2年生は今回の学校祭を通して、クラスの団結力を深め、学校祭以外の行事でもそこで培った団結力や協調性を次に活かせるようなものにして欲しい。また3年生は最後の学校祭として、楽しみながらも3年間の集大成をここで全て発揮できるような期待している。今回の学校祭を通して、沢山の思い出を作りながらみんなで協力して良いものを作り、そこで協調性や社会性も育んでいってほしい。

最後に、学校祭を企画するにあたって、生徒会執行部を中心

に先生方や係の担当となった生徒によって学校祭の準備が進められた。なので、彼らに感謝の気持ちを込めながら青春を味わって欲しい。学校祭楽しむぞー！



第18回深川西高校吹奏楽局定期演奏会

10月16日(日)に、深川市文化交流センター「み・らい」にて吹奏楽局の定期演奏会を行いました。部員も15名となりましたが25名以内のC編成で50人以内の大編成の醍醐味とは違い、個々の力量が求められる質の高い練習の成果が表現できるのも魅力の一つでしょう。来場者180名余のお客様の前で演奏することができて、とても幸せな時間となったことでしょうか。当日のパンフレットから。

顧問挨拶

吹奏楽局顧問 米倉 幸子

本日はお忙しい中、深川西吹奏楽局の第18回定期演奏会に足をお運びいただき、誠にありがとうございます。また、昨年に引き続き多くの企業や深川近隣の市民の方々にご協賛・ご寄付をいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

今年度は、3年生が1名、2年生が4名のところに新人局員10名が加わり、活動面・演奏面ともに充実してきています。6月には、高文連空知支部音楽発表大会の当番校を任せましたが、局員の動きは大変すばらしく、大会をしっかりと運営することができていました。

また、吹奏コンクールでは1年生が過半数以上占める中、昨年度に引き続き空知地区の代表として全道大会に出場することができました。地区大会では、私たちが思っていた以上の高評価をいただき、全道に向けての目標が高まったのですが、全道の結果は銀賞でした。昨年は銅賞でしたので、結果としては確実にステップアップしておりますが、全道大会というプレッシャーや緊張といった空気にのまれ、満足いく演奏ができなかったということがあり、局員・顧問一同大変悔しい思いをしてきました。ですがこの悔しさを、来年必ず晴らしたいという気持ちが生まれ、そ

れがまた日々の活動の充実や局員の成長につながっていると感じます。

皆様に支えていただき、この定期演奏会に至るまでの間で様々な経験を積むことができました。どうぞ今日は局員の頑張りや成長を見ていただき、皆様とともに笑顔のあるひとときを過ごせましたら幸いです。最後までごゆっくりお楽しみください。

局長挨拶

局長 宮島 佐和(3年)

本日はお忙しい中、深川西高等学校吹奏楽局の定期演奏会に足を運んでくださり、ありがとうございます。現在、吹奏楽局は3年生1名、2年生4名、1年生10名の計15名で活動しています。大編成のバンドよりも個々の実力が求められる中、全道金賞・東日本大会出場を目指し、練習を重ねてきました。その甲斐あって、前年度に引き続き、今年も全道大会に進むことができました。結果は銀賞で、東日本大会には及びませんでしたが、新たに自分達の演奏の可能性や改善点を見つけられる貴重な経験になりました。

今回の定期演奏会は、コロナウィルスの影響で様々な制限をせざるを得ない状況となつてしまいました。しかし、そのような状況下でもご来場くださった全ての方に楽しんでいただくよう、限られた中で自分達にできることを見つけ出し、局員全員で話し合いを重ね計画してきました。今の自分達にできる最高のパフォーマンスになっていますので、最後まで楽しんでいただけると嬉しいです。

前年度に引き続き、今年も地域の方々や、み・らいのスタッフの方々に多くのご支援とご協力をいただき、今日、このホールで演奏できることになりました。心より感謝申し上げます。

育樹の現場から

■今年も満開の八重桜

宮脇さんが観桜に来る前の最盛期の画像です。見事でした。



2022 / 5 / 12

■咲き乱れるユリノキの花

2007 / 6に植えてから15年の月日が流れて咲き乱れるユリノキの花。津田元同窓会長の夢見た情景をやつと実現することが出来た。

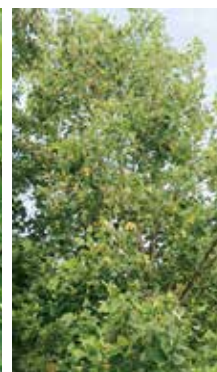


■強風に倒壊したイチイ

27日夜中の風速16m西風で根元が枯れて風化していたイチイの二本立の一本が強風で折れてしまった。前年の処理作業で処理忘れしていた木だったがやっぱり心配していた通りになってしまった。



2022 / 6 / 13



■芝に満開のデージー

校務補さんが芝の手入れをしているが一度目の手入れの後に伸びてきて一面の花を咲かせる様は壮観です。本当に期間限定の風景です。



2022 / 4 / 28



2022 / 6 / 13

■雪を落とさねば...

植えた当初から桜の枝折れは気にかけている作業の一つであった。枝折れの部分から病虫害が侵入する。着雪した枝が折れ曲がりテグス病になってから結構神経を使っている。この程度は許せるが落ちないうちに雪が積もると重みで枝に不具合が起こる。



2022 / 2 / 5

■紅葉のヤマボウシ

2015 / 5に植樹して7年。花付きも良くなつて見栄えも良くなってきた。春の八重桜に沿って校庭の東側は紅葉に彩られたヤマボウシの赤がきれいになってきた。実がいっぱい成ったら食べ比べに来てください。



2022 / 10 / 21

■協力者募集

緑の学び舎運営委員会も発足から15年を経過しました。開校時の古野校長の緑豊かな教育環境への強い思いは、時として止まってしまうようになってきたりしながらも、うじて今日まで繋いで来たのが本当のところです。今流行の持続可能な開発目標・SDGsの17の目標の中に気候変動に関してや陸の豊かさ、海の豊かさ、住み続けられるまちづくりなど環境汚染、温暖化なども関連して設定されています。特に環境問題に対応するには判断がつくまでの時間が長いだけに即戦力はなく気が付いた時に

は既に間に合わないことです。大事な事業をやっているのですがすぐには結果は出ません。それでも出来ることをささやかでも続けていこうと思っています。さて、現委員は18名ですが決してお若い委員ばかりではなく事業継続のための将来のことを心配するようになりました。そこそこ基礎も出来たのでこれ以上新規の事業を興さず、一年の仕事量も減らしながら事業に対応していくつもりですがいざれ限界もきます。そんな訳で新しい若い力を求めています。是非一緒に汗を流しましょう。

緑の学び舎運営委員会

《令和4年度・事業報告 報告済分》

- ◎1月3日 校庭のカラスのねぐら排除作戦終結かレーザーポインター導入
- ◎1月5日 新しいメンバーに南 公雄さん(22)参加
- ◎2月5日 校庭木の雪おろし
- ◎2月23日 校庭のカラス強制排除作戦第4弾
- ◎4月27日 夜中の強風で駐車場入り口のイチイ倒壊



斜面に築いた石段

《令和4年度・事業報告》

- ◎5月17日 宮脇氏校庭に観桜で来訪
- ◎5月18日 春作業
- ◎6月10日 同窓会林に不法投棄、警察に通報
- ◎9月27日 卒業記念植樹会場草刈り
- ◎10月10日 第13回 卒業記念植樹「ナナカマド」

- ◎10月10日 秋作業

《令和5年度・事業計画》

- ◎第一回運営委員会
- ◎春季作業及び管理 校庭及び同窓会林
- ◎夏季管理 校庭及び同窓会林
- ◎秋季作業及び管理 校庭及び同窓会林
- ◎第14回卒業記念植樹「ドロノキ」
- ◎延期になっている記録史の発刊
- ◎散策路の下準備



《第一回緑の学び舎運営委員会及び春季管理作業報告》

堀川副委員長、寺前、山田、南、石川、東、竹林、溝口

お天気は最高だった。今回の作業は現地で現状確認ということで午後1時30分集合ということにした。南委員が初参加。トトロ峠で待ち合わせて一緒に現地へ向かう。

旭川から参加の寺前委員が眺望をおかず、に食事中だった。気持ちよさそうでした。桜の開花は数本を除いてほぼ終了。やっぱり…そうだよなあ。途中山道に雪があったのでぎりぎりのタイミング。山道の雪の状況次第なので、数日前の案内になってしまったがそれにも関わらず8名の参加を得た。

現状の管理状況を確認し、今後の管理手法を学ぶ。管理手順を協議し委員で確認。秋作業では今回の確認事項を基に作業を行う。記念植樹の補植の確認と越冬作業のマニュアルづくりの基礎資料を集める。気持ちよく下山。

見栄えが悪いのと添木のほうが細くなってきたので役目を終えた添え木を撤去した。添え木に絡まるツタ漆を切り払ったのだがやはり春の漆は手ごわい。かぶれてしまって痒いし患部はぐちゃぐちゃだし…。



《不法投棄》

2022/6/8フキ採りがてら学校林に入り、草の状況や湧水の手摺の確認に車回しまで車を進める。車回し手前で不法投棄を発見。誰も入らないような時期なら目立つが、人の出入りの多いタケノコ採りのシーズンに紛れて草木ならまだしも人工物ばかりでタイヤやホイールキャップなど車庫からの不要物ばかりで唖然とする。怒り心頭であるが手がかりがないか調べるも証拠となりそうなものも見当たらず。市役所の環境課と音江の駐在所に連絡した。環境課では「所有者の方に処理していただくしかありません」とのご宣託。翌日、駐在所1名本署1名の2人で山奥まで来てくれて2時間ほど現場検証をしてくれましたが決め手となるような証拠は発見できませんでした。犯人が見つからないので、後日処理をする予定。



際から裂けて倒壊し面影をなくしていた。以来、段階的に倒壊していたが遂に今夏にはわずかに残っていた南側の部分も倒壊してしまっ

かは果てるものとは言え誠に残念ではあるが、命名された「湧雲の白樺」も記録と記憶の中に残るのみとなつてしまった。

で枝折れしたり、2017年の秋の強風で一番太かった北側の一枝が根

に雪の重み

年輪を重ねて

きなシラカバ

太い太い大

思っていた

れ威風堂々と

みなさんに紹

る。津田元会

「湧雲の白樺」と名付けら

時の写真が50年史に掲載されてい

湧雲の白樺ついに倒壊

S 54年10月に学校林を見学した



紙面の都合上、一部を掲載しております。

情報発信委員会（溝口信義 記）（18期）

【お知らせとお願い】

※資料収集のお願い。毎度のことですが、古い資料があればと探しています。生きているうちには捨てられない資料も残された家族にとってはゴミです。こうして貴重な資料も散逸して確保が困難になります。開校百年が手の届くところまで来ます。ところでお願いをしておかなければ間に合いません。ご提供いただけるものがあれば是非お願いしたいのです。お借りできるものはコピーをしてお返しいたします。（お届け、連絡は学校まで）

※創立五周年・復刻版
昭和23年7月20日発行
（A5判134ページ）

※十周年記念誌・復刻版
昭和18年4月25日発行
（A5判41ページ）